

# 明日に向かつて

## ともに創る

(124)

大船渡市長 戸田公明

### キャツセン大船渡の紹介

JR大船渡駅周辺地区では、土地区画整理事業と津波復興拠点整備事業（JR大船渡線の海側の商店街づくり）を導入し復興まちづくりが行われてきました。津波復興拠点整備事業区域は、事業者の敷地が換地された部分、市で買い取った住宅・事業所などの移転跡地が換地集積された部分、および大型店舗群の企業が所有する部分などから成っています。これが「キャツセン大船渡エリア」です。

同社はエリアマネジメントの一つとして、市所有地（食堂街区と商店街区）を借り受け、テナント建物を建設し、被災した店舗関係者などに賃貸しています。この賃貸方式により、震災前に見られた商店街のシャッター化を防ぎ、持続可能なまちづくりの素地ができました。

また、エリアマネジメントを公的に位置付けるため、同社を都市再生推進法人として指定しました。同社が市へ払う借地料は固定資産税相当額までに減額されており、減額分がエリアマネジメント等の自主事業とエリア全体の事業に使われています。（株）キャツセン大船渡以外の事業所が市から土地を借りる場合も同様であり、減額相当額を都市再生法人である（株）キャツセン大船渡に支払いエリアマネジメントに役立ててもらおうとともに、一部を自らのイベント費用など

に使えることとしました。エリアマネジメント実施の費用捻出はこのような仕組みであり、JR大船渡線山側を住宅地に、海側を商店街として賑わい創出を目指している大船渡市ならではの復興まちづくりの取り組みです。そのユニークさから平成29年度日本都市計画家協会賞の最高賞である日本まちづくり大賞を受賞しました。

このような取り組みにより、キャツセン大船渡一帯では、バラエティーに富んだ数多くのイベントが行われています。また、ホームページでは、エリアマネジメントの取り組みとして、まちづくり、景観づくり、まちもり大学、キャラバン、イベント、マチコヤ、視察受け入れ、企業情報など、多彩な活動と地元情報を紹介されていますので、ご覧ください。

「エリアマネジメントを通じて、東日本大震災前の課題を克服しながら持続可能なまちづくりを進める。」これこそが、単なる復旧ではなく復興と言えるものです。キャツセン大船渡では、今後とも関係者が一丸となって、エリアマネジメントに工夫を重ね、賑わい創出に果敢に挑戦され、まちの発展に繋がることを心から祈念します。

## 65歳以上対象

## シニアのDIY教室 参加者募集

▷期日＝9月7日(水)

▷内容・時間

・第1部…男性限定

ブックスタンド作り

(336×202×200mm)

午前10時～11時30分

(受付：午前9時30分～)

・第2部…どなたでも可

ベンチ型プランター作り

(350×250×165mm)

午後1時30分～3時

(受付：午後1時～)



▷会場＝総合福祉センター(警察署となり)

▷対象＝65歳～概ね75歳の人

▷講師＝DCMホームマック

▷定員＝10人(先着順)

▷申込締切日＝8月31日(水)午後5時

▷持ち物・服装＝手袋(軍手など)、飲み物、動きやすい服装(汚れても良いもの)

▷参加費＝ブックスタンド1,500円、ベンチ型プランター1,000円

▷その他＝参加費は材料費、工具貸出代込みの金額です。

▷申込先・問い合わせ先

地域包括ケア推進室(☎262943)